

4月からの地区集会所のご利用について

問い合わせ 市民参画課 ☎38-2007

地区集会所は、地域の相互の親睦や文化活動の増進を図るための施設です。これまで市が地域に管理運営を委託し、市長が使用の許可を行ってまいりましたが、4月1日から平成20年3月31日までの3年間、「指定管理者制度」を導入し、「芦屋市地区集会所運営協議会連合会」(理事長・藤田一、大原地区集会所運営協議会会長)が利用の許可等、集会所の運営を行うことになりました。

「地区集会所指定管理者制度」とは
指定管理者は利用料金の収入と市からの指定管理料で運営を行い、施設にかかる光熱水費や修理工費等の維持管理費は市が負担します。

利用申し込み受付
利用時間 午前(9時～12時)・午後(1時～5時)・夜間(6時～9時30分)
申し込み 3ヵ月先(申込日の月を含む)まで
例：4月中の受付は6月30日、5月に入れば7月31日まで
利用料金 振込みが原則。集会所によっては現金でも受け付けます。
受付時間 開館日の午前9時から正午(申し込み順)
午前9時の時点で競合した場合は抽選
申し込み状況はホワイトボード等でお知らせしていますので、窓口等が不在のときは予約箱(ポスト)に申請書を投入し、仮予約することができます。

市民と市長 集会所トーク ＜報告＞

マンション新築に際し、環境を守りたいという声を受け止めてほしい/法律等を守っていれば、原則的に建築許可を出さざるを得ません。地区計画をつくるのが一番の抑制になります。植栽の希望が多い旨は指導していきます。集会所は指定管理者の運営でどうかわるか/料金は変わりません。申し込み方法等が若干変わります。定期的に利用している人には説明会を行う予定です。

松ノ内花壇の松を守るためシールド工法で行えないか/シールド工法は用地買収や他の道路の接続に問題があります。47本のうち2本については樹齡的に移植できず伐採します。

精道小学校の建て替えのため松が4本切られるが保護して欲しい/原則的には全て残したいが、重機を入れることや校舎隣接の木は安全のため切らざるを得ません。

なぜ浜風小学校に民間保育所を設置するのか/保育所の待機児童は市の南部地域に多く、早期に待機児童を解消するため必要です。なお、公立での新設は考えていません。

幼稚園の廃園とあるが/今は具体的にどの園という計画はありません。園児数が2千人から9百人になっている状況から、園児数の動向を見て1～2園の廃園はありえます。

職員はどの程度減らすのか、また給料や手当・福利厚生は600人になります。給料は国家公務員を100としたラスパイ指数で96台まで落ち、これは阪神間で最低です。手当や福利厚生も、市民の目線で見直すべきものは見直していきます。

問い合わせ 行政経営課 ☎38-2005

放送時間(30分)	放送内容
8:00	芦屋市広報番組 あしや30 ^{サード} min.
11:30	芦屋市政クララ 山手幹線道路 ～平成22年度完成を目指して
16:00	広報トピックス 湘芦屋フェスティバル 市民の杜づくり・芦屋川せせらぎコンサート
19:30	イベント情報 アートフリーマーケット あしや山まつり
22:30	芦屋の中のフランス チェリー・ヴォッキエ工さん ミニ特集 ご利用ください。「芦屋からた」 市民の時間 壁を越えて～経路さん親子の挑戦 (スペシャルオリンピックの銀メダリスト)

4月24日(日)は「J-COMプレビューデー」のため、の放送はありません。番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 CATV全般に関する問い合わせ 光ケーブルネット神戸芦屋(J-COM Broadband神戸・芦屋) ☎0120-13-8160

【地区集会所一覧】		
月曜日休館	打出集会所(大東町17-3)	☎23-2329
竹園集会所(竹園町5-6)		☎22-2484
朝日ヶ丘集会所(朝日ヶ丘町30-9)		☎23-4896
潮見集会所(潮見町7-1)		☎32-4359
奥池集会所(奥池南町34-4)		☎32-0763
茶屋集会所(茶屋之町8-20)		☎32-1232
火曜日休館	大原集会所(大原町20-2)	☎38-7782
水曜日休館	翠ヶ丘集会所(翠ヶ丘町9-15)	☎22-2475
前田集会所(前田町8-17)		☎23-3899
春日集会所(春日町13-17)		☎32-5377
浜風集会所(浜風町3-2)		☎38-0960
西蔵集会所(西蔵町11-16)		☎32-0764

*年末年始(12月29日～1月3日)休館
*使用料等詳細は、上記の各集会所へ

「市民と市長 集会所トーク」は、1月24日から2月10日まで、集会所と三条分室の計13カ所、262人の市民の皆さんに参加いただきました。山中市長から、厳しい財政状況や行政改革の取り組み、庭園都市宣言への取り組みやお願いについて説明した後、市民の皆さんとまちづくりについて意見交換を行いました。ご出席の皆さんから、市政に対する厳しい意見や要望のほか、励ましの言葉もいただきました。その主な内容についてお知らせします。

庭園都市宣言とは/市全体が1つの大きな庭園となって世界の人々が、「一度は芦屋へ訪れてみたい」と言われるようなまちづくり。国体に向けて芦屋川、宮川などを住民のボランティアで花を植えるなど。

他市と比較して議員が多いのでは/法では30人までです。多い少ないは議会で議論されるでしょう。前回の選挙の時から、28人を24人に減らしました。

健康づくりの場として公園に運動器具の設置を/遊具の取替の時に検討します。

学力調査の結果はどうだったか/学力は小・中学校とも二極化の傾向があります。今年も調査したが昨年より学力は向上しています。

民間空地の雑草対策について/民間の土地についての把握や指導には限界があります。所有者に対して引き続き協力をお願いします。

津波対策について/国の予想は3mぐらい、芦屋は5mの護岸なので理論上は大丈夫です。避難は遠方より高所へお願いします。

JR芦屋駅北側の駐輪対策を/店舗側は民地のため、市では撤去できませんが、改善に向けて協議していきます。

その他のご意見・ご要望/犬のふん、放置自転車等モラル向上を/コミュニティバスの導入を/水道料金値上げはなぜ必要か/ごみの有料化は考えているか/市の将来ビジョンを示してほしい等

各会場でのご意見・ご要望は、市役所行政情報コーナーでご覧になれるほか、市ホームページに掲載しています。

問い合わせ 行政経営課 ☎38-2005

「講座の企画」を募集します

あなたの企画した講座と一緒に学びませんか?
対象 男女共生を考える3人以上のグループ(男女の別は問いません) 内容 「女と男・バランスある社会」への共生を探るもの(1企画・1～2回の講座。経費は1企画30,000円以内)
応募方法 5月25日(水)までに、企画書(所定様式)を下記へ提出 選考 5月28日(土)午後1時から、企画者によるプレゼンテーションを行い、優秀企画(5点以内)を決定します。講座は17年度中に開催されます。
問い合わせ 女性センター ☎38-2023

春の全国交通安全運動 4月6日～15日

交差点での安全確認を励行しましょう
シートベルト・チャイルドシートは正しく着用しましょう
二輪車は安全に利用しましょう
昨年の交通事故件数は人身事故や負傷者は減少しましたが、死亡事故が2件発生しました。市民一人ひとりが交通安全意識の向上を図り、交通事故防止を心掛けましょう。
《交通安全啓発活動》雨天中止
日時 4月8日(金)午後2時30分～
会場 JR芦屋駅北ベデストリアンデッキ
内容 兵庫県警察音楽隊演奏ほか
問い合わせ 道路課 ☎38-2063

平成17年度施政方針の概要

問い合わせ 行政経営課 ☎38-2009

まちづくりの目標1 活気あふれる豊かな生活環境づくり

コミュニティづくり 地区集会所を地域の活動の拠点とし、各自治組織の強化、活性化を支援します。
防災対策 防災意識の向上、自主防災組織の育成および防災総合訓練等による津波避難訓練を行います。/芦屋市打出芦屋財産区共有財産管理委員会のご理解を得て、同財産区会計の積立金を活用し、消防本部庁舎の建て替えに関する基礎調査と基本設計を行います。
防犯対策 まちづくり防犯グループの結成の支援等を行い、地域ぐるみの安全・安心の確保に力を入れます。
交通安全対策 学校園および保育所での交通安全教育の充実と交通安全施設の整備を進めます。
環境保全の推進 環境マネジメントシステムの構築を、京都精華大学と協働して取り組みます。/緑化等環境保全事業助成制度は生け垣等設置助成制度と統合します。
自動車公害対策 国道43号および阪神高速3号神戸線の自動車排出口ガス対策や騒音対策等を引き続き国等に要望します。ごみの減量化対策 紙資源分別収集の推進に努めます。不法投棄防止対策 芦屋市不法投棄防止協議会で対応を協議するとともに、パトロールおよび排出者調査を行います。人権推進 豊かな人権文化を育み、市民がお互いを認め合いながら共に生きる社会の実現を目指します。
商工行政 芦屋市商工会と連携して商業と観光を関連付けた情報発信を行い、芦屋市中小企業融資制度や活力あるまちなか商店街づくり促進事業などを継続実施します。
消費者行政 不特定多数の人にはがきや封書を送りつけて不当な請求をするなどの悪質な事例に対して啓発を徹底し、被害の防止に取り組みます。

まちづくりの目標2 健やかでめくもりのある 福祉社会づくり

福祉社会づくり 市民の皆さんから多くのご意見をいただきながら、「地域福祉計画」の策定に着手します。
健康づくりの推進 マンモグラフィ併用の乳がん検診を実施します。
救急業務 AED(自動体外式除細動器)を一般市民も使用できることになったことから、本庁舎、体育館・青少年センターおよび市民センターに試験的に設置し、またAEDを取り入れた「普通救命講習会」を開催します。市立芦屋病院 院内開業および保険調剤薬局誘致など病院経営の抜本的見直しに取り組みます。
福祉医療費助成 所得制限基準、一部負担金、心身障害者(児)および高齢心身障害者の対象者の見直しを行います。本年7月に県の精神障害者医療費助成制度が新設されますので、本市でも同様に制度を創設します。/乳幼児医療助成では、0歳児から2歳児までは入院時と本人負担を無料とします。
高齢者福祉 来年度の介護保険制度改正にあわせ「第4次芦屋すこやか長寿プラン21」の策定に取り組み、介護予防

平成17年第1回市議会定例会(2月25日)において、山中健市長が表明した施政方針の概要をお知らせします。
全文は、市役所北館1階行政情報コーナー、市ホームページでご覧になれます。

まちづくりの目標3 人と文化を育てるまちづくり

《教育委員会の事業》
学校教育 保護者・地域から信頼される特色ある学校園づくりを推進します。/不審者対応や自然災害に対する避難訓練の実施を通し、危機管理意識の高揚に取り組みます。/小・中学校では、基礎基本の学習内容が全ての児童生徒に十分習得できるよう努めます。/障害児教育振興では、巡回相談事業の実施や介助員等を配置します。/総合的な学習の時間では、自ら学び考え判断できる子どもの育成に取り組みます。/国際理解教育では、日本語指導が必要な帰国・外国人児童生徒への日本語指導支援ボランティアを配置します。/道徳性や社会性の涵養に努め、道徳教育の充実を図ります。/児童生徒の情報活用能力やコミュニケーション能力の向上、情報モラルの育成に取り組みます。/スポーツ活動や文化活動においては、児童生徒が自ら心身の健康の保持増進を図る健康教育の充実を努めます。/進路指導では、的確な進路情報の収集に取り組みます。教職員の資質の向上 教育公務員としての使命感と倫理観を高め、豊かな人間性の涵養、専門性と実践的指導力の向上に努めます。
高等学校 来年度末で市立芦屋高等学校が廃校になります。在校生が全員揃って卒業を迎えられるよう、最後まで支援します。

市町村モデル事業として筋力向上トレーニング事業、閉じこもり予防事業を実施します。/地域型在宅介護支援センターを1カ所増設します。/高齢者虐待防止ネットワークの構築に取り組みます。/来年度の法改正で予定されている「(仮称)地域包括支援センター」の創設準備を進めます。介護保険 介護給付等対象サービスの確保に努め、ケアマネジメンターを配置し、その活動を支援します。/来年度から第3期介護保険事業計画の策定に取り組みます。バリアフリー化 阪神打出駅(バリアフリー)の具体化に向け関係機関と調整します。
子育て支援 芦屋市子育て支援連絡会を設置するとともに、「次世代育成支援行動計画」進捗の検証として市民を主体とした評価組織を設立します。
待機児童の解消 浜風小学校の余裕教室を活用した暫定的な民間保育所の設置や、旧山手幼稚園跡地に新たな民間保育所を誘致します。
障害者福祉 「芦屋市障害者(児)福祉計画～第4次中期計画～」に基づき、利用者の立場に立った個別支援を推進します。

幼稚園 豊かな心情や、物事に自ら取り組む意欲を育み、健全な生活を営むために必要な態度などを育成します。学校園の施設 精道小学校校舎改築工事、山手中学校にエレベーター等の設置など、施設・設備の改善を進めます。社会教育 市民の皆さんへ、さまざまな学習機会の提供に力を入れます。社会教育施設の管理運営 民間活力の導入を図ります。/海浜公園プールでは、本年6月から指定管理者による運営業務が始まります。家庭教育 子育てセンターにおける講座や公民館講座等でさまざまなプログラムを提供します。/子育てホットラインは、子育て支援ボランティアの協力で継続実施します。スポーツ振興 スポーツ・フォー・エブリワンを目指し、生涯スポーツの推進を図ります。/来年10月に兵庫県で開催される第61回国民体育大会本番に向けての準備と、本年8月からのリハーサル大会に取り組みます。芦屋市史の編集 3回目の「芦屋市史」編集に取り組みます。

《教育委員会以外の事業》
男女共同参画施策 性別役割分担意識を見直すための啓発などを行うとともに、活動の場や機会を提供し、市民や事業者、関係団体とのネットワークを広げます。国際交流事業 市内在住外国人に生活情報提供を行います。/芦屋市国際交流協会は、本年度から自主運営を行ういいただくことになりました。市として可能な限り支援を行います。

まちづくりの目標4 快適でうるおいのある都市づくり

都市計画マスタープランの推進 緑豊かで上質な都市空間を実現し、人にも優しく、文化を育む活力あるまちづくりを進めます。
芦屋庭園都市宣言 学校園や公共施設を花で飾ります。/来年度10月開催の国体に向け、JR芦屋駅周辺の花づくりを行います。/市内で緑化活動を行っている団体や、花・緑に関する活動に対し助成を行います。/緑の基本計画の素案を検討します。
景観形成事業 景観アドバイザー会議や景観条例に基づく指導、助言を行います。
開発および建築行政 住環境の保全・育成および建築物の安全性確保と質の向上に努めます。「潮芦屋」のまちづくり 昨年度に続き県企業庁において、第2期の住宅分譲とマリナーに隣接するセンター地区における施設整備が予定されています。

施政の基本方針

本年は、戦後から60年の節目の年となります。本市におきましては、阪神・淡路大震災から丸10年を經過し、震災復興事業もほぼ計画どおり進み、平成17年度は次へのまちづくりを目指す初年度となります。私は、市民中心の行政を推進していくため、「3つの視点」を掲げ市政の執行に努めてまいります。



施政方針を表明する山中市長

視点 「市民の目線に立って市民と歩む市役所」への挑戦
視点 「市民から信頼される市役所」への挑戦
視点 「職員自ら変革し、市民と協働する市役所」への挑戦
また、市政の最重要課題として、財政再建、市民参画・協働の推進、時代の変化に対応できる行政運営への取り組みを位置づけております。

まちづくりの目標5 市民と協働してつくる 自立した行政基盤づくり

市民参画の推進 市民参画・協働推進の指針を策定します。また、市民の意思が十分行政に反映されるような仕組みづくりを進めます。広報活動 広報紙、ホームページ、パンフ等への広告掲載を引き続き実施します。市民相談 司法書士による無料法律相談を新設します。IT化の推進 本年11月、戸籍事務のコンピュータ化を行います。人事評価 昨年度に続き、課長級以上の職員を対象に目標による管理を試行的に実施します。行政評価システム 本市に最も適した行政評価システムの構築を進めます。

山手幹線の整備 関係機関等とも協議を行い、芦屋川トンネル部の工事着手に向け取り組みます。
駐輪対策 駅周辺の放置自転車対策を進め、自動二輪車の違法駐車対策については関係機関に要望していきます。
上水道事業 効率的な施設の整備や老朽化した水道施設の改良・更新を行うとともに、水質検査計画を策定し公表します。/水道料金の改定について、改めて検討します。
下水道事業 六菰荘地区の都市基盤整備、市街地における浸水対策の強化や、老朽管の更生・布設事業に取り組みます。/下水道処理場電気設備の改築工事を行います。芦屋市聖苑 指定管理者による民間の豊富なノウハウを活かし、市民サービスの向上と周辺環境に影響を及ぼさないよう適切な運営に取り組みます。あしや温泉 浴室の壁を補修します。/入浴料を本年7月から改定する予定です。

放送時間(30分)	放送内容
8:00	芦屋市広報番組 あしや30 ^{サード} min.
11:30	芦屋市政クララ 山手幹線道路 ～平成22年度完成を目指して
16:00	広報トピックス 湘芦屋フェスティバル 市民の杜づくり・芦屋川せせらぎコンサート
19:30	イベント情報 アートフリーマーケット あしや山まつり
22:30	芦屋の中のフランス チェリー・ヴォッキエ工さん ミニ特集 ご利用ください。「芦屋からた」 市民の時間 壁を越えて～経路さん親子の挑戦 (スペシャルオリンピックの銀メダリスト)

4月24日(日)は「J-COMプレビューデー」のため、の放送はありません。番組に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006 CATV全般に関する問い合わせ 光ケーブルネット神戸芦屋(J-COM Broadband神戸・芦屋) ☎0120-13-8160

あなたの企画した講座と一緒に学びませんか?
対象 男女共生を考える3人以上のグループ(男女の別は問いません) 内容 「女と男・バランスある社会」への共生を探るもの(1企画・1～2回の講座。経費は1企画30,000円以内)
応募方法 5月25日(水)までに、企画書(所定様式)を下記へ提出 選考 5月28日(土)午後1時から、企画者によるプレゼンテーションを行い、優秀企画(5点以内)を決定します。講座は17年度中に開催されます。
問い合わせ 女性センター ☎38-2023

春の全国交通安全運動 4月6日～15日
交差点での安全確認を励行しましょう
シートベルト・チャイルドシートは正しく着用しましょう
二輪車は安全に利用しましょう
昨年の交通事故件数は人身事故や負傷者は減少しましたが、死亡事故が2件発生しました。市民一人ひとりが交通安全意識の向上を図り、交通事故防止を心掛けましょう。
《交通安全啓発活動》雨天中止
日時 4月8日(金)午後2時30分～
会場 JR芦屋駅北ベデストリアンデッキ
内容 兵庫県警察音楽隊演奏ほか
問い合わせ 道路課 ☎38-2063

「1.17 あしやフェニックス基金」市民グループ活動を助成します
受付 4月1日～平成18年3月31日(平日の執務時間内)
対象 構成員が3人以上の過半数が市民であるグループ、または市内を活動拠点とするグループが次の活動をする場合被災者の自立支援活動、被災地域の復旧・復興支援活動(20,000円～100,000円)
防災意識の高揚・自主防災組織構築に関する活動(10,000円～20,000円)
防災および復興に関するボランティア育成(10,000円～20,000円)
阪神・淡路大震災の教訓を語り継ぐ活動(10,000円～20,000円)
阪神・淡路大震災の災害・復興資料展示(10,000円～20,000円)
阪神・淡路大震災の慰霊・追悼事業(20,000円以内)
その他、基金の目的に添った活動(50,000円以内)
問い合わせ 行政経営課 ☎38-2009

大会は、8月10日(日)から13日(水)までですが、施設の使用、撤去のため、8月初旬から8月末日まで利用します。なお、コースロープを設置しているため、あゆみ橋東側と潮風大橋西側に、二十四時間体制で警備隊を配備するなど事故防止に万全を期します。
利用期間
大会は8月10日(日)から13日(水)までですが、施設の使用、撤去のため、8月初旬から8月末日まで利用します。なお、コースロープを設置しているため、あゆみ橋東側と潮風大橋西側に、二十四時間体制で警備隊を配備するなど事故防止に万全を期します。
み橋の間が練習会場となります。
「大会施設 キヤナルパーク南岸一帯に、決勝審判台・実施本部・競技本部・成績計算室・選手控所などのユニットハウス・テントを設置します。また、総合公館の北側海岸に近い所に、カヌー艇庫を建設し、駐車場の一画に開会式用大型テントを設置します。また、選手関係者用に駐車場全部を利用します。
設置し、コースを遮断する自動発転装置を取り付けます。また会期中、浜風大橋とあゆみ橋の間が練習会場となります。
「競技施設」競技会場となるあゆみ橋と潮風大橋の間の海水面に、コースロープ長550m、幅9m全九コースを設置し、コースを遮断する自動発転装置を取り付けます。また会期中、浜風大橋とあゆみ橋の間が練習会場となります。
大会となる芦屋キヤナルパーク・総合公園の利用計画の概要をお知らせいたします。サマーシーズンの大会であるため、マリンスポーツ愛好者はじめ多くの皆さんに不便をおかけしますが、ご理解と協力をお願いします。
理解と協力と主な施設
「競技施設」競技会場となるあゆみ橋と潮風大橋の間の海水面に、コースロープ長550m、幅9m全九コースを設置し、コースを遮断する自動発転装置を取り付けます。また会期中、浜風大橋とあゆみ橋の間が練習会場となります。

カヌー競技リハーサル大会の会場利用計画
本年8月に開催する大会の会場となる芦屋キヤナルパーク・総合公園の利用計画の概要をお知らせいたします。サマーシーズンの大会であるため、マリンスポーツ愛好者はじめ多くの皆さんに不便をおかけしますが、ご理解と協力をお願いします。
理解と協力と主な施設
「競技施設」競技会場となるあゆみ橋と潮風大橋の間の海水面に、コースロープ長550m、幅9m全九コースを設置し、コースを遮断する自動発転装置を取り付けます。また会期中、浜風大橋とあゆみ橋の間が練習会場となります。
大会となる芦屋キヤナルパーク・総合公園の利用計画の概要をお知らせいたします。サマーシーズンの大会であるため、マリンスポーツ愛好者はじめ多くの皆さんに不便をおかけしますが、ご理解と協力をお願いします。
理解と協力と主な施設
「競技施設」競技会場となるあゆみ橋と潮風大橋の間の海水面に、コースロープ長550m、幅9m全九コースを設置し、コースを遮断する自動発転装置を取り付けます。また会期中、浜風大橋とあゆみ橋の間が練習会場となります。